

三菱マテリアル株式会社 主催  
「こんなに楽しいクラシック」

# 和洋折衷 協同

わようせつちゅう わちゅうぎょうどう

直島女文楽と弦楽デュオの共演

2023年 4月22日 (土)

直島ホール

後援：直島町、直島町教育委員会

企画：aokoubou

三宅 進(チェロ)

桐朋学園大学研究科修了。1988年、インディアナ州立大学音楽学部アーティスト・ディプロマコースにて研鑽を積む。1990年帰国後、新ヴィジュアルディ合奏団メンバー、イン弦楽四重奏団、群馬交響楽団首席チェロ奏者などを歴任。東響、東フィル、新日フィル、大阪フィル、札幌など全国の主要なオーケストラに首席奏者として客演。海外での演奏も多く、イタリア、オーストリア、フランス、ギリシャ、トルコ、マケドニア、コソボ、中国、韓国、など世界各地でのコンサートはいずれも高い評価を得ている。

2010年より武蔵野音楽大学で後進の指導にあたる。

2012年公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団の首席チェロ奏者に就任。翌2013年より同団ソロ首席奏者。2013年より仙台市宮城野区文化センター主催の室内楽シリーズ Music From PaToNaの音楽監督を務める。第4回ウィーンフィル&サントリー音楽復興祈念賞を受賞。

CDは「ラフマニノフチェロソナタ」「ZAL」「Miyake and Four Cellos」がビクターエンタテインメント、若林工房から発売されている。使用楽器はCarlo Tononi 1735ca。



近藤 浩子(ヴァイオリン)

東京藝術大学附属音楽高等学校、同大学音楽学部器楽科卒業。卒業と同時に東京フィルハーモニー交響楽団入団。1990年からイギリス(ロンドン)へ留学。ロンドン北部ヘンゲレイブ古城におけるインターナショナル・サマーセミナーに参加。2004年岡山に活動の拠点を移し、岡山フィルハーモニック管弦楽団に所属し、2006年より2022年3月まで岡山フィルのコンサートマスターを務めた。日本フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団などにも客演する。また2007年に演奏家団体OACMS(オークムス)を立ち上げ、定期的にコンサートを企画・演奏している。2017年にはニュージーランド北島ホキアングにてマオリ族と音楽交流演奏会を行ない、国際文化交流にも力を注ぐ。

現在、岡山大学非常勤講師。OACMS(オークムス)の代表として全国各地で活動を行なっている。2020年 岡山市文化奨励賞(芸術部門)受賞。

## 演目

### 音牙春白月 団子売の段 (ねもさゆるはるのうすづき だんごうりのだん)

団子売りの本題は音牙春白月と言い、元は清元の玉兎月景勝(たまうさぎつきのかけかつ)を 義太夫化したもので、幕末から明治初年頃に作られたと言われている。この曲は義太夫では珍しく一曲を通じて二上りで演奏する。

仲の良い団子売り夫婦の「夫婦円満」と「子孫繁栄」のお話。町へやってきた夫の杵造、妻のお白が夫婦で仲良く餅をつく様がやがて軽妙な踊りへと変わってゆく。

### ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲作品7番第1楽章 コダーイ作曲

ゾルタン・コダーイ(1882~1967)はハンガリーを代表する作曲家、民族音楽学者。ハンガリーの民謡採集を行い、西欧音楽と融合させた楽曲を生み出した。

この二重奏曲は1914年にブタペストで完成された。5音階や民謡の旋律、農耕民族の踊りからくる作風は、我々日本人にも懐かしさと親しみを感じさせる。音域の異なるヴァイオリンとチェロを高度に融合し、たった8本の弦のみで奏されているとは信じ難いほどシンフォニックで多彩な展開を見せる傑作。

### 伽羅先代萩 政岡 (めいぼくせんだいはぎ まさおか)

奥州五十四郡を治める伊達家の幼い主君「鶴喜代」を、お家乗っ取りを企む一味(幼君を亡き者に狙う者)から守るため、乳母「政岡」は、ともに御殿の奥に閉じこもり、毒殺を恐れ自ら調理した物しか食べさせていなかった。そこに源頼朝の使者が怪しげな菓子を持参し、一味の「ハタ」と共に現れる。鶴喜代に食べさせてはならぬと思い、乳兄弟の政岡の実子「千松」が毒の入った菓子を自ら食べてしまう。そしてハタは毒殺の計画が漏れないよう、苦しみだした千松に刃を当てて殺してしまう。

我が子を犠牲にしてまで主君を守った政岡は、我が子千松の亡骸を抱き締め涙に暮れる。その後、政岡は我が子千松の恨みを晴らす・・・

### BUNRAKU (ぶんらく) 黛敏郎作曲

黛敏郎(1929~1997)は戦後日本を代表する現代作曲家の一人。古典をベースに様々な分野の音楽に働きかけ、前衛的・革新的な作品を生み出した。

「BUNRAKU」は1960年に、倉敷の大原美術館三十周年記念行事のために作曲され、大原総一郎に捧げられた。日本三大芸能の一つである「文楽」の世界を、西洋楽器であるチェロで表現しようと試みた意欲作。全体は3つのパートからなり、太棹三味線のバチさばきをピチカートに置き換え、義太夫節の微妙な節回しを超絶技巧を効果的に用いて表現。極めて緊張感を持った作品に仕上がっている。

文責：よしもと正人 (aokoubou)

## ごあいさつ

本日は三菱マテリアル株式会社直島製錬所文化行事「こんなに楽しいクラシック!和洋折衷」和協同にお越し頂き、誠にありがとうございます。

皆様ご存じの通り、当所は約一世紀に渡り直島とともに歩んでまいりました。現在は銅・貴金属製錬で日本トップクラス、リサイクル分野でも世界トップクラスの処理量を誇る一方、環境調和型の操業によって循環型社会に貢献しております。本イベントは、当所がこれからも直島町とともに発展・共生する製錬所であり続けたいとの想いから企画いたしました。

本イベントは、直島町の伝統芸能であり、香川県無形・有形民俗文化財でもある直島女文楽より2演目、そして日本の各管弦楽団で活躍されているバイオリニスト・チェリストによる弦楽デュオより2演目を、交互に披露していただきます。

和と洋の織りなす世界観と豊かな音の響きを是非お楽しみください。

三菱マテリアル株式会社

直島製錬所 清谷 謙二

## 直島女文楽について

日本でも稀少な女性だけで構成された人形浄瑠璃一座。

江戸時代、幕府の直轄地であった直島は芸能が盛んに行われていました。しかし明治時代初期に下火となり、文楽も途絶えていましたが、昭和二十三年に女性のみで再興されました。現在、地元の主婦ら十四人が町のイベントや高齢者施設の慰問などで公演を行っています。漁船を人形使いの足隠しに用い、細やかな動作と華やかな衣装が特徴です。瀬戸内国際芸術祭でも公演し、香川県無形・有形民俗文化財としての文化伝承に力を入れています。

只今、座員を募集しております。先人より受け継いだ地元の伝統芸能と一緒に演じませんか。

練習の見学やお子様の体験学習など、少しでも興味をお持ちでしたら、詳細は直島町教育委員会まで、どうぞお問合せください。 ☎087-892-2882

本日はご来場誠にありがとうございました。

令和五年四月二十二日

直島女文楽一同